

通常用

作成日：令和 7 年 8 月 29 日
担当課：建設部 みどり公園課

令和6年度 指定管理者導入施設 管理運営評価シート（標準例）

1 評価対象施設の概要

施設名称	生駒山麓公園				
所在地	奈良県生駒市俵口町2088番地				
指定管理者名	生駒山麓公園指定管理共同企業体	指定期間	開始日	令和 6 年	7 月 1 日
利用料金制適用区分	不適用		終了日	令和 10 年	3 月 31 日
選定方法	公募	評価実施年	指定期間 3年9か月のうち 1 年目		
設置目的	金剛生駒紀泉国定公園の緑豊かな自然環境の中で、市民の休息、鑑賞、散歩、遊戯、運動等総合的な利用に供される市内有数の公園で、ふれあいセンター、野外活動センター、フィールドアスレチック、テニスコート等を公園内に設置し、市民の福祉の増進と生活文化の向上に寄与することを目的としている。				
主な実施事業等	生駒山麓公園運営（指定管理＝公園部分、テニスコート。自主事業＝フィールドアスレチック、野外活動センター）、ふれあいセンター運営（指定管理＝温浴施設、研修室。自主事業＝売店。）、市民対象イベントの実施				

2 利用実績

利用区分等	単位	予定(計画・目標)	利用実績	対前年度比	増減の理由等
フィールドアスレチック	人	目標無	26,047	63%	7月から9か月間の実績となるため
野外活動センター	人	目標無	14,671	43%	
ふれあいセンター研修室	人	目標無	10,898	96%	
ふれあいセンター浴場	人	目標無	47,335	70%	
テニスコート	人	目標無	15,720	72%	

3 事業収支

単位：千円

		事業計画	事業報告(実績)	(参考) 前年度実績
収入計	A	160,169	183,577	237,380
指定管理料		131,269	131,269	174,509
利用料金収入	C	0	21,071	0
自主事業収入		28,900	31,237	60,215
その他		0	0	2,656
支出計	B	161,524	164,669	242,585
指定事業費		131,269	131,269	182,863
うち人件費	D	34,728	34,728	63,896
うち再委託料	E	39,526	39,355	37,914
自主事業費		30,255	33,400	59,722
事業収支	A-B	-1,355	18,908	-5,205
利用料金比率	C/A	0.0%	11.5%	0.0%
人件費比率	D/B	21.5%	21.1%	26.3%
再委託費比率	E/B	24.5%	23.9%	15.6%
補足説明（必要に応じて記入）				

※人件費(D)及び再委託料(E)は主な支出内訳のため、DとEの合計額が指定事業費にはなりません。

4 利用者の意見把握状況

利用者の意見把握の実施の有無	有	実施方法	利用者アンケート・意見箱の設置 その他 （Wedアンケート）
実施結果	意見内容等		対応実績等
	①宿泊施設が和室しかないのが残念		①アウトドアテイストの新たな客室を設置（今後も新たな部屋を導入予定）
	②他の大型公園と比べて遊べる場所が少ない（プールなど遊べる設備が減っているのが残念）		②来年度新たな常設アスレチックを設置
	③レストランメニューに魅力がない		③レストラン運営法人へ打診
	④園内に枯れ木や倒木などが散乱している		④枯れ木や倒木については処理済み。今後、園内巡回や園内清掃を強化する
	⑤駐車場が混雑するので駐車場を増やしてほしい		⑤貴市と今後のあり方について検討
	⑥老朽化が目立つ施設が多くなってきた		⑥貴市と今後のあり方について検討

5 管理運営状況評価

施設の設置目的の達成（有効性）	
施設の目的や特性等に合致した管理運営（事業計画に則った管理運営、施設の有効活用による設置目的の達成等）	
指定管理者による自己評価	
複合的な大型公園として様々な来園者のニーズにお応え出来るよう日頃より来園準備を怠らず行った。施設の点検整備や適切な改修工事、機能向上を行い来園者の満足度向上や来園促進を心がけた。また前10年の障がい者就労の場としての取組みも継続して行った。	
市の評価	
事業計画書に基づき、適切な管理運営が行われました。定期的な園内巡回を実施し、安全な運営に努められています。また、業務の一部を継続して障がい者就労支援団体に委託することで、障がい者の就労支援に寄与しています。	
市民の平等な利用の確保（平等な利用への配慮、公平で適切な利用者の決定等）	
指定管理者による自己評価	
貴市と協議しこれまでのルールや運用方法にて改訂を実施しました。利用時間（受付時間・予約）、駐車場ルール、スカイライン通行ルール（新たな信貴生駒スカイライン運用）、利用方法など曖昧なルールや運用方法については平等で公平な利用が出来るよう厳格に対応をしました。	
市の評価	
前指定管理者の運営方法を引き継ぎつつ、改善可能な点については積極的に見直しを行い、来園者の平等な利用の確保に努められました。運営方法を変更する際は来園者が公平に利用できるよう、本市と詳細な手続きについて協議・共有を行いました。	
利用者の満足度（利用者の意見把握結果による満足度の状況、意見等に対する取組状況、苦情等に対する対応等）	
指定管理者による自己評価	
窓口や電話での対応も行ったが、Webアンケート（匿名投稿）を基本としてご来園者の個人情報保護に配慮しつつ、率直なご意見集約に努めた。アンケートや直接頂いたご意見に対しては優先度をつけ実施可能な事項は運営部門と設備/管理部门が連携して素早い対応を行った。時にはフレキシブルな対応を行いクレーム対応等を行った。	
来園者から寄せられたさまざまな意見に対して真摯に対応されていました。アンケート調査や口頭で集約された意見は積極的に反映されており、利用者満足度の向上に寄与していると考えられます。また、管理運営に関する意見については柔軟に対応しつつも、すべての来園者が公平に利用できるようルールの統一を図り、適切に運営されていました。	
経費の縮減等の効果（効率性）	
経費の縮減等（経費縮減の具体的な取組、効果等）	
指定管理者による自己評価	
業務の内製化や業務のシステム化を行い業務適正化を行った。また取引業者の見直しを行い経費の削減を行った。見える化により日頃より節電や節水などエネルギー量削減においてはひとりひとりが意識改革を行った。	
市の評価	
経費削減に向けてさまざまな見直しが実施されました。業務効率化を図るための作業管理システムの導入や、予防保全を重視した修繕が行われ、長期的な視点から修繕費等のコスト削減が図られています。また、節水・節電対策の一環として契約会社の見直しも実施され、経費の縮減に効果を上げています。	
収入の増加（収入増加の具体的な取組、効果等）	
指定管理者による自己評価	
公式HPやパンフレットなどに加えSNS（Instagram/X/公式LINE）の開設やインフルエンサーによる投稿をはじめ大型ビジョン（道頓堀とんぼりステーション）への広告活動など時代に沿った集客施策を行った。新たなイベント実施や新たなサービス提供をリリースした。	
市の評価	
市内外問わずの多様な媒体を活用して積極的に広報活動を行い、収入増加を目指し取り組みを進めています。また、多彩な自主事業イベントを開催し、来園者の集客に努める姿勢が見受けられました。	
適正な施設の管理運営（適正性）	
施設の管理運営の状況（適正な人員配置、従業員の能力・資質向上、広報活動、環境行動の取組状況、地域との連携等）	
指定管理者による自己評価	
管理・設備・運営・企画と役割分担を適切に行い、不足の無いサービス提供体制を整えた。近隣地域イベントへの参加や様々な方と意見交換や企画実施に向けて協議を行った。	
市の評価	
指定管理者が変更された初年度ではありましたが、現場での役割分担が適切に行われており、管理運営体制が早期に整備された様子が見受けられました。また、地域の事業者と連携し、地域イベントへの参加を通じて、生駒山麓公園と周辺地域とのつながりを深める取り組みも行われていました。	
自主事業の取組（施設の有効活用による市民サービスの向上への効果等）	
指定管理者による自己評価	
設備の修繕や更新を自社で行い安全管理や利便性向上に努めた。また施設内のリニューアルを行い新たなサービスのリリースも行った。	
市の評価	
園内の修繕や設備の更新作業が積極的に実施され、利用者の安全確保と快適な利用環境の向上に努められました。また、施設の充実及びリニューアルも行われており、これにより市民サービスのさらなる充実に寄与しています。	

	安全管理、危機管理体制等（個人情報保護、事故発生時の対応、危機管理体制等）
	指定管理者による自己評価
	事故発生・台風等の自然災害時には、共同企業（ザイマックス関西・アドバンス）と各再委託先及び青葉仁会と連携、共有し対応を行った。
	市の評価
	指定管理者が変更された初年度においては、さまざまな災害等の緊急対応に適切に対応されました。再委託先との連携も良好で、迅速な対応が行われており、危機管理体制が機能していたと評価されます。また、本市との協議や適宜の相談も行われており、関係機関との連携のもと、円滑な対応が図られました。
サービスの安定的な提供（安定性）	
	事業収支（自主事業を含む）の状況（事業収支の妥当性、安定的な事業継続等）
	指定管理者による自己評価
	指定管理者変更等もありその影響を受けた部門もあったが、指定管理部門や自主事業部門共に安定した事業運営が出来た。イベント事業も毎月様々なイベントを実施した。事業者投資も実施し部屋のリニューアルも実施した。
	市の評価
	安定した管理運営が実施されており、天体観測をはじめとする多様な自主事業が毎月継続的に開催されました。広報活動にも積極的に取り組まれており、多くの参加者が見受けられるなど、事業運営は概ね安定していると評価されます。加えて、自主事業を通じて来園者が浴場やアスレチック施設なども利用することで、関連収入の増加にもつながっています。さらに、指定管理エリア内の宿泊施設のリニューアルを実施。宿泊収入の増加も確認されるなど、収益構造の改善が図られています。

6 指定管理者の財務の状況

単位：千円

	令和4年度	令和5年度	令和6年度
資産	5,146,971	5,146,970	12,954,323
流動資産	921,090	921,090	8,565,009
固定資産	4,225,881	4,225,880	4,389,314
負債	398,958	398,957	11,627,020
流動負債	398,958	398,957	6,045,101
固定負債	0	0	5,581,919
純資産	4,748,014	4,748,013	1,336,548
資本金	4,748,014	4,748,013	103,000
売上高	1,941,961	1,971,333	25,291,509
経常利益	298,754	240,923	708,264

7 指定管理者の経営状況（財務・資産関係指標）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度
自己資本比率 純資産/資産×100	92.2%	92.2%	10.3%
負債比率 (流動負債＋固定負債)/純資産×100	8.4%	8.4%	869.9%
固定比率 固定資産/純資産×100	89.0%	89.0%	328.4%
流動比率 流動資産/流動負債×100	230.9%	230.9%	141.7%
固定長期適合率 固定資産/(純資産＋固定負債)×100	89.0%	89.0%	63.4%
総資産回転率 売上高/資産×100	37.7%	38.3%	195.2%
総資産経常利益率 経常利益/資産×100	5.8%	4.7%	5.5%

8 総合評価等（今後の業務改善に向けた考え方）

指定管理者による自己評価
新たな賑わいつくり創出に向けて新たな取組み（ルール改正やイベント）や新たなサービスを積極的に取り組んだ。常にPDCAを回しトライ＆エラーを繰り返し、今後においても、持続可能な施設を目指しての取組みを継続して行います。
市の評価
指定管理者となって初年度でしたが、大きな混乱もなく業務を滞りなく遂行された点を高く評価します。また、持続可能な施設利用に向けて、修繕の計画や情報共有を積極的に行っており、その取り組みも評価されます。さらに、様々なイベントの開催によって来園者の集客に努めるとともに、野外活動センター及びふれあいセンター内宿泊施設のリニューアルを実施し、公園の魅力向上に大きく寄与されました。イベントにおいては、特に人気の高かったものを定例化したり、季節に応じた企画を実施したりすることで、リピーターの獲得に向けた工夫が見られました。また、市内外を問わず多様な媒体を活用した広報活動を展開し、多方面へのアプローチを行うとともに、アンケート調査や情報収集を通じてサービス向上に努め、来園者のニーズに即した公園づくりに貢献されていました。